

特選神名牒

阿波國五十座

大 四三座
小 四十七座

○板野郡四座

大 一座
小 三座

大麻比古神社

大神

祭神 大麻比古神

今按一宮記神名帳頭註に大麻比古神社猿田彦神とあれど疑はし古史傳に此社は大麻山と云ふに在りと云り然れば大麻と云るは麻を殖たる由にて山名も此謂れによりて負る所と思ゆ出雲風土記青幡佐草日古命於高麻山之上其御魂坐也又此神之坐處於今云大草と云る故事をも思ひ合すへしまた式に勝浦郡に阿佐多知比古神社とあるも此神なるへしさて天日鷲命ならんと云るは古語拾遺に令天日鷲神津咋見神穀木種殖以作白和幣物一衣着茂也とあるによりての説なるへけれと安房忌部系圖に天日鷲命の子大麻比古命又名津咋見命ともみえたるによらは津咋見命ならん歎猶よく考ふへし
神位 清和天皇貞觀元年正月廿七日甲申奉授阿波國從五位下大麻比古神從五位上同九年四月廿三日阿波國從五位上大麻比古神授正五位上陽成天皇元慶二年四月十四日己卯授阿

波國正五位上大麻比古神從四位下同七年十一月甲子朔授阿波國從四位下大麻神從四位上

祭日 九月十二日

社格 國幣中社

所在 板東村 大麻 (板野郡板東村大字板東)

鹿江比賣神社

祭神 鹿江比賣神

今按阿波國式社略考に祭神草野姬神と云るは鹿江と音近きによりての附會なれば信かたし安房忌部系圖に大麻比古命の女子鹿江比賣命今千貝大神是也とあるは此神ならん歎もし然らば此に由あるへし
神位 陽成天皇元慶七年九月五日戊辰授阿波國從五位下鹿江比賣神從五位上

祭日

社格

所在

今按阿波國式社略考に大麻社行在所の東平林中にあり菑地は一町餘りの南なりしに寛政の頃洪水にて今の地に遷されしなりと云ものは彼の草野姬神の所在をさすなるへし

宇志比古神社

祭神

祭日

社格

所在

今按式社略考明細帳並に板東村にありて牛宮と云是なりと云りされと大谷村八幡宮ならんとも云ふは阿波國板野郡田上郷延喜二年戶籍と云ものに戶主物部廣成年添拾陸歳とある次の文に弟物部子益年肆拾壹歳宇志祝部と見え今新喜來村と云所に田のうへと云ふ字あり大はうり居やしきと云地もあり但し此地今は川となれ共古き檢地帳にしか見えさて程遠からぬ大谷八幡宮は昔此邊りより今の山手にすて迂し祀りし社なりと云ひまたかの社前に今ほうりかたと云地もありなほ新喜來村の隣にうしやしまこ云村もあれはかたかたすて置難しとの考へなりこの説由ありて聞ゆれば能く訂さまほしき事なり

岡上神社

祭神

今按式社略考に祭神豐宇氣毘賣神にてウケテカ通音毘を省き賣上は横通なりと云れと豐宇氣神を豐岡姫神とも申すより岡上ミヲカノメ音の似たるを以て考へたる説なればとりかたし土佐長岡郡に豐岡上天神社ありて置宇氣姫命なりと云るも之に同じ合せ考へし又名東縣式社考證に

阿波國 阿波郡

建布都神社

祭神 建布都神

祭日

社格 村社

所在 郡村(阿波郡土成村大字郡)

今按本社所在香美村の平地權現なりとて舊德島藩に定め

○阿波郡二座

小並

祭神 稚産靈命是神は蠶桑五穀牛馬の神なれ阿波の國俗の岡の神祭とて十月亥日二季社日家々に赤豆飯を升に盛りて祭るなりと云りさらは上件の説ともは御父子の神系を誤りて傳へたるにやあらん
祭日 九月廿三日
社格 村社(郷社)
所在 大寺村 岡 (板野郡板西町大字大寺)

今按大寺村に今なほ岡の下と云地名ありさるは乎加神のます所なれば岡といひしを上下に別て岡上岡下と云しにはあらしか社の坐す一傍系を岡ノミヤさいへるをも思ふへし又古き童謡に正月さまはどこまで。板東山のすそまで。弓を杖につきはこ板を腰にさし。あつき餅こぶるこぶる御出なさる。さうたひしもこの神の事にてかたがた思ひ合はさるるなり